

院内がん登録統計 (令和7年)

- このデータは令和7年1月1日～令和7年12月31日の間に、
当院の入院および外来で、診断や治療等を行った悪性新生物及び中枢神経系腫瘍、
消化管間質腫瘍（GIST）、一部の境界悪性の卵巣腫瘍を
「がん診療連携拠点病院等 院内がん登録 標準登録様式 2016年版」
に基づき登録し、当院が独自に集計したものです。
- 「項目番号420：症例区分」が「80:その他」も含んだ集計となっています。
- 部位別の集計を参照の際は、「部位別の集計表を見るとき の注意点」を
お読みください。

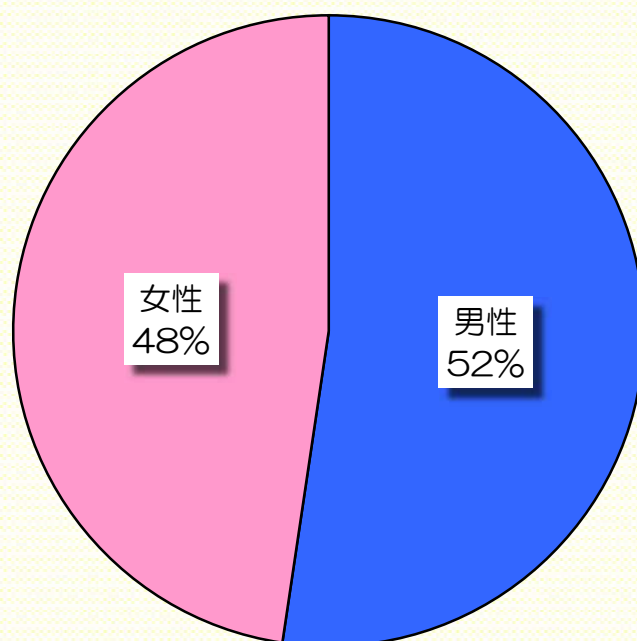
-目次-

1. 男女の割合と登録件数
2. 性別年齢階層別の割合
3. 原発部位別の登録割合
4. 症例区分別の登録割合
5. 都道府県別及び市区町村別の登録割合
6. 来院経路の割合
- ※部位別の集計表を見るとき の注意点
7. 上位10部位性別年齢階層別登録割合及び治療内容割合
 1. 肺
 2. 乳房
 3. 大腸(結腸・直腸)
 4. 前立腺
 5. 胃
 6. 膵臓
 7. 食道
 8. 悪性リンパ腫
 9. 肝臓
 10. 脳・中枢神経系
8. 登録件数推移

男女の割合と登録件数

男女 比率	2025		
	男性	女性	合計
登録件数	391	356	747
割合	52%	48%	100%

男女の割合



○2025年の全登録件数は747件です。

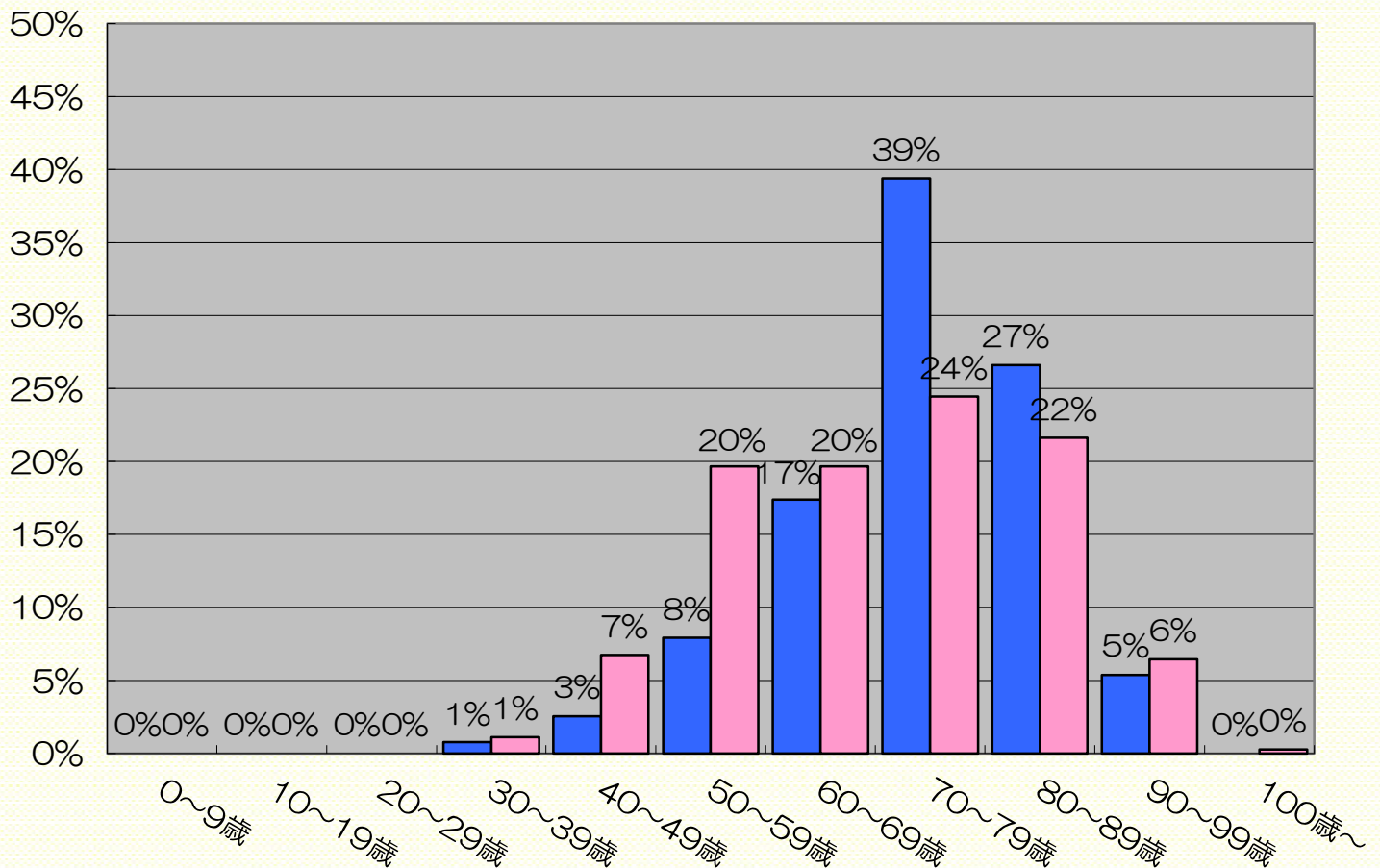
○ 男性の悪性新生物等の登録件数は391件、女性の悪性新生物等の登録件数は356件です。

○ 男女比率は、男性が52%、女性が48%です。

性別年齢階層別の割合

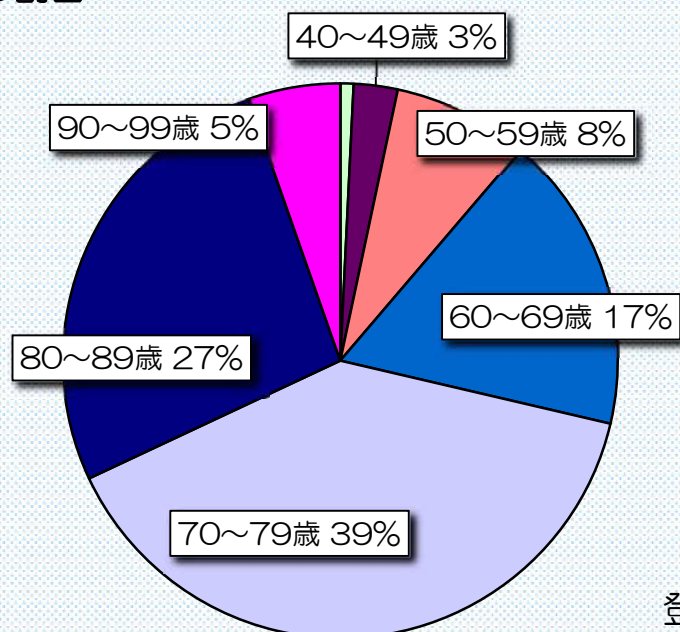
性別年齢階層別の登録割合

登録件数＝747



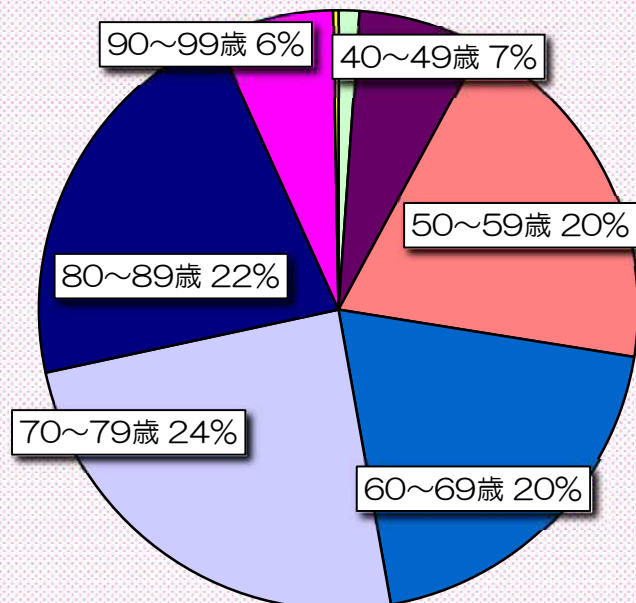
○ 年齢層は、男性・女性とも70歳～79歳が最も多く、次いで80歳～89歳、60歳～69歳の順で多くなっています。男性の70歳～79歳の割合が39%と、他の年齢階層の割合と比べて高く、40～49歳から60～69歳では、男性よりも女性の割合が高くなっています。

男性の年齢階層別の割合



登録件数=391

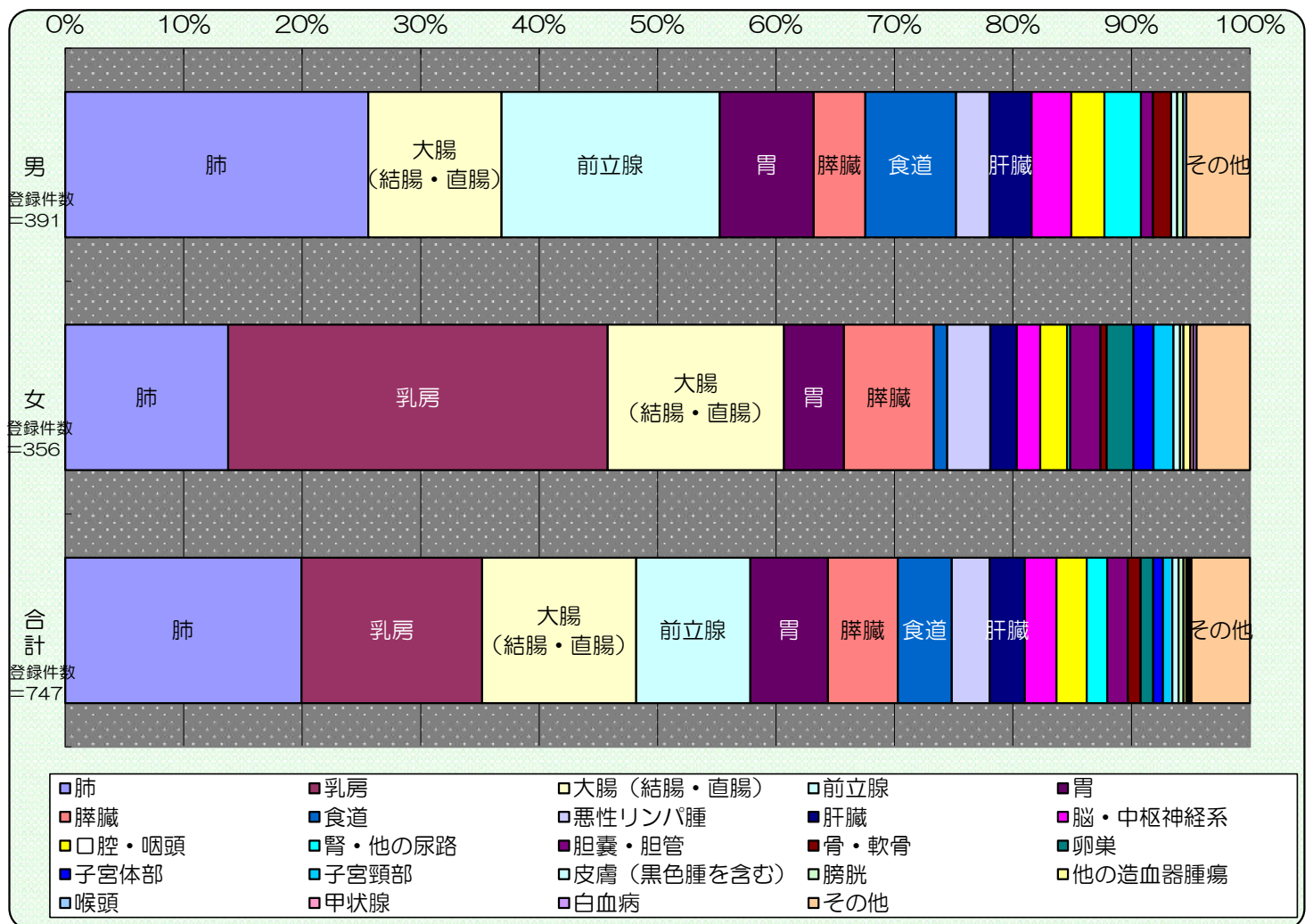
女性の年齢階層別の割合



登録件数=356

○ 当院では、男性は高い年齢層の割合が高く、女性は男性に比べ低い年齢層（40歳から60歳代）の割合が高くなっています。

原発部位別の登録割合



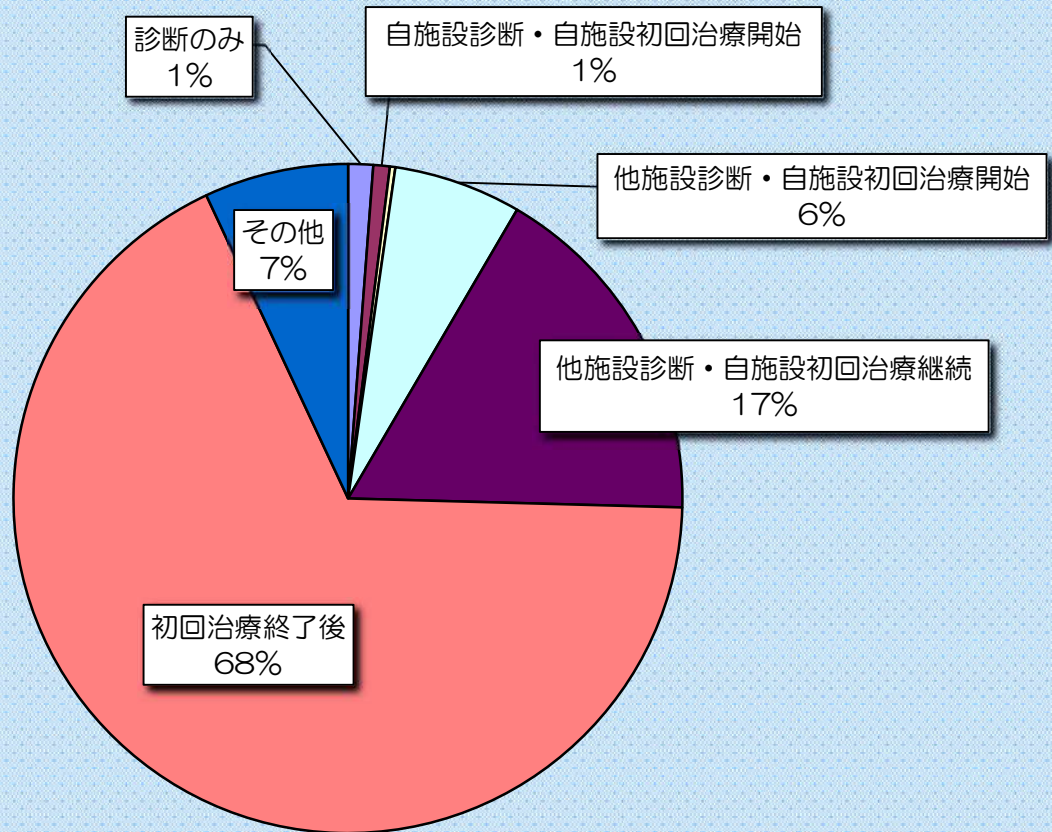
男性は、1：肺 2：前立腺 3：大腸（結腸・直腸） 4：胃 5：食道 の順で割合が高くなっています。

女性は、1：乳房 2：大腸（結腸・直腸） 3：肺 4：脾臓 5：胃 の順で割合が高くなっています。

全体では、1：肺 2：乳房 3：大腸（結腸・直腸） 4：前立腺 5：胃 の順で割合が高くなっています。

症例区分別の登録割合

症例区分別の割合

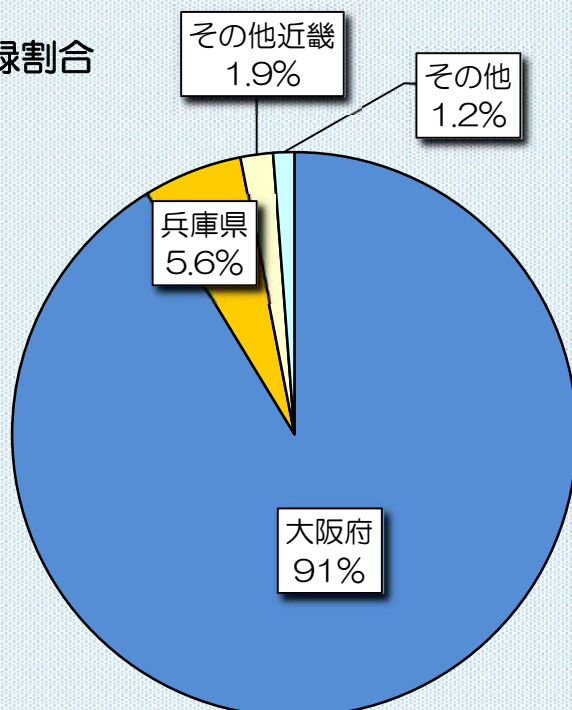


登録件数＝747

○当院では、「初回治療終了後」（初回治療が終了した後の継続治療や、再発や転移したがんの治療）の割合が最も高く、次いで「他施設診断・自施設初回治療継続」（他施設で診断・初回治療が開始され、その初回治療継続の症例）の割合が高くなっています。

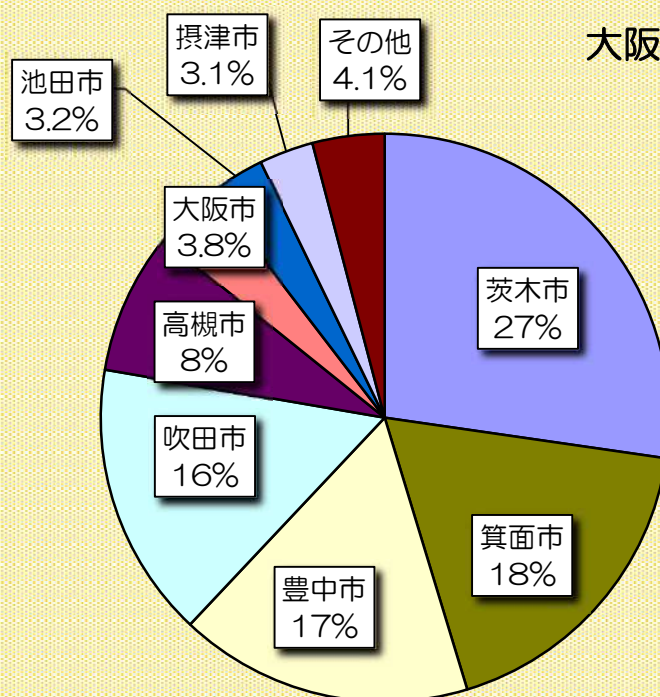
都道府県別及び市区町村別の登録割合

都道府県及び地方別の登録割合



登録件数=747

大阪府内の市区町村の割合



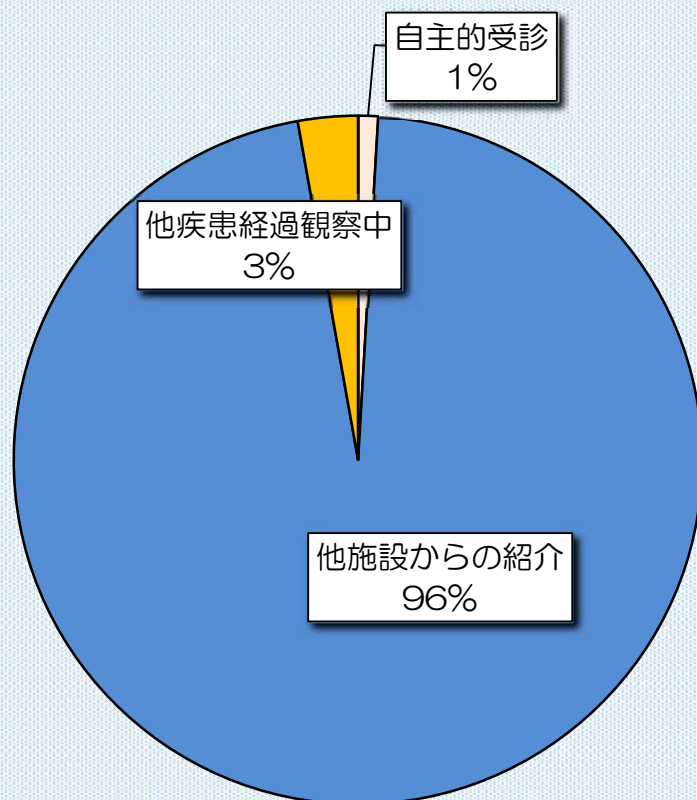
登録件数=682

○都道府県別では、大阪府が91%で兵庫県が5.6%、その他の近畿地方が1.9%という割合になっています。

○大阪府内で見ると、茨木市、箕面市、豊中市、吹田市の順で割合が高く、約75%を占めています。次いで高槻市、大阪市、池田市の順になっています。

来院経路の割合

来院経路別の割合



登録件数=742

○来院経路の割合は、他施設からの紹介が最も多く約96%となっています。次いで他疾患経過観察中（自施設で他疾患により経過観察中にがんと診断あるいはがんが疑われた場合）、自主的受診の順となっています。

※部位別の集計表を見るときにの注意点

○以下の部位別の集計は、当院独自の集計方法となりますので、
下記を確認の上ご参照ください。

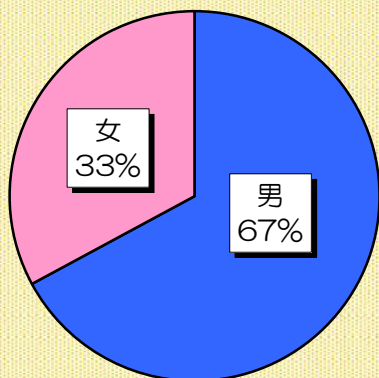
※部位別の集計では、初回治療、初回治療継続症例だけでなく、
初回治療終了後の再発・転移症例等を含む、全ての登録情報で集計を
行っています。

※放射線治療には症状緩和的治療（除痛目的の放射線治療）が含まれており、
原発巣に対する治療だけでなく、転移巣や再発巣に対する治療や腫瘍の
縮小目的以外の治療も含まれています。

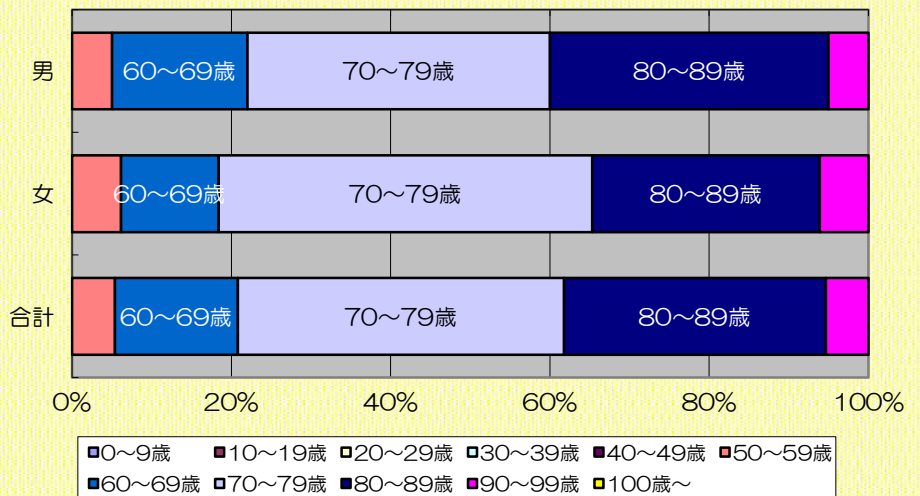
※治療内容の「その他」は、外来診療や一般病棟での加療及び対症療法（症状緩和を
目的とした薬物療法等）や経過観察等になります。

1. 肺

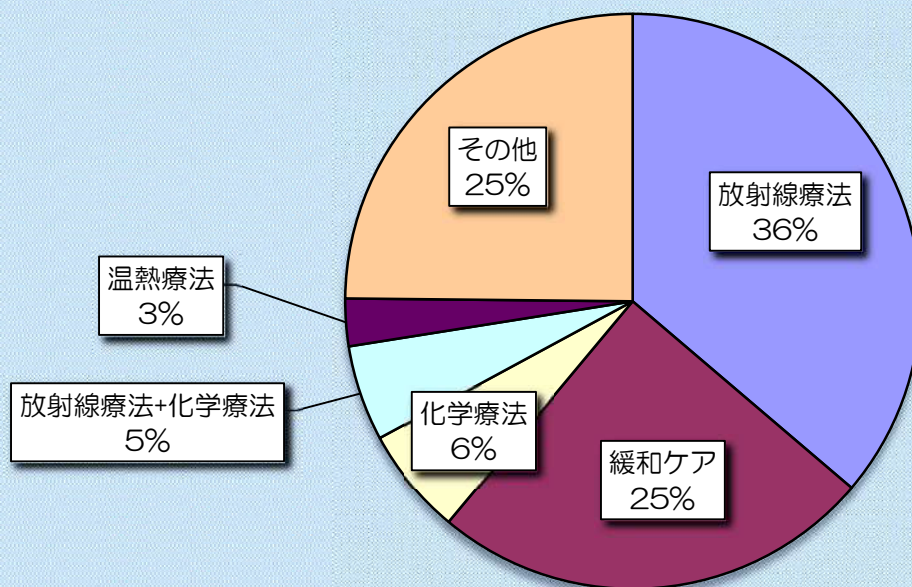
男女の割合



性別年齢階層別の割合



治療内容



○肺がんの登録件数は149件です。

○当院では、肺がんの男女比率は男性が67%、女性が33%となっています。

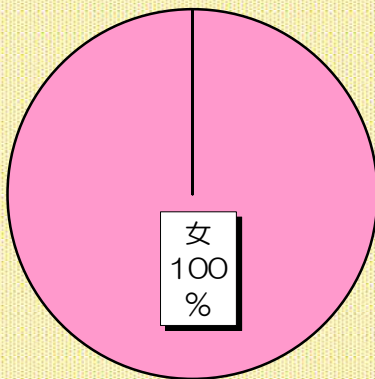
○年齢階層は、男女とも70~79歳の割合が高くなっています。

○治療の内訳は、放射線療法、緩和ケア、化学療法の順で割合を占めています。

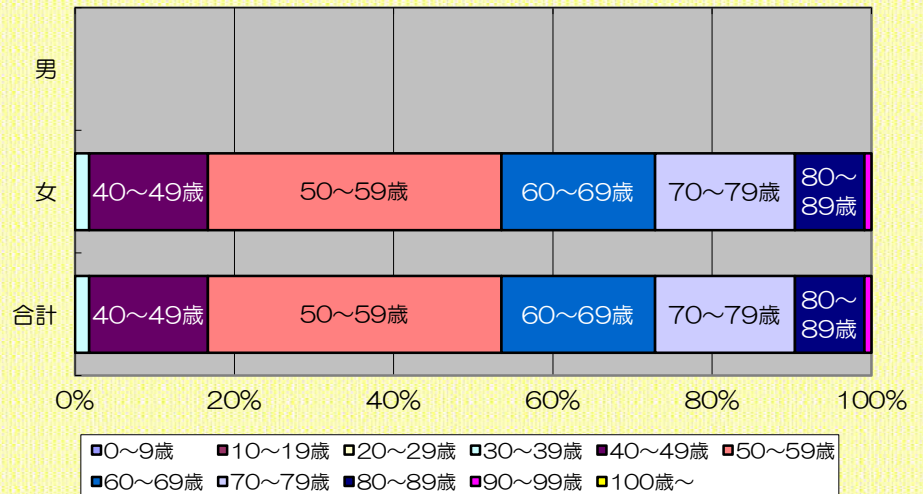
その他（対症療法等の加療、経過観察等）の割合は25%となっています。

2. 乳房

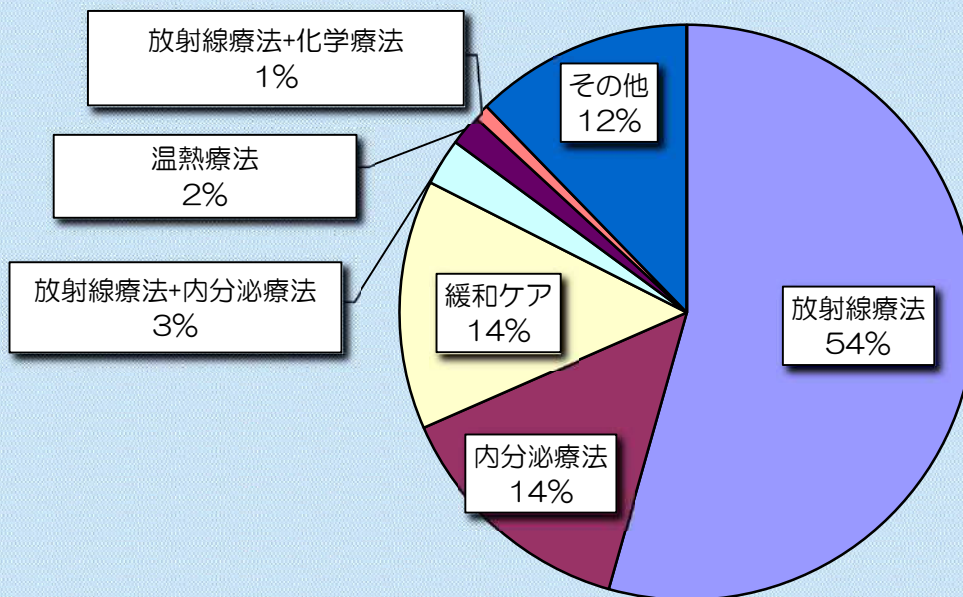
男女の割合



性別年齢階層別の割合



治療内容



○乳がんの登録件数は114件です。

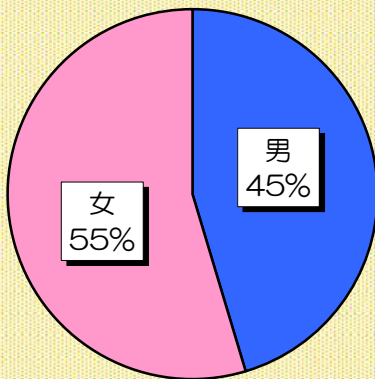
○年齢階層は、50~59歳の割合が高くなっています。他の部位に比べ40~49歳、50~59歳の割合が高く、年齢の若い方の割合が高くなっています。

○治療の内訳は、放射線療法の割合が最も高く、次いで内分泌療法及び緩和ケアの順となっています。

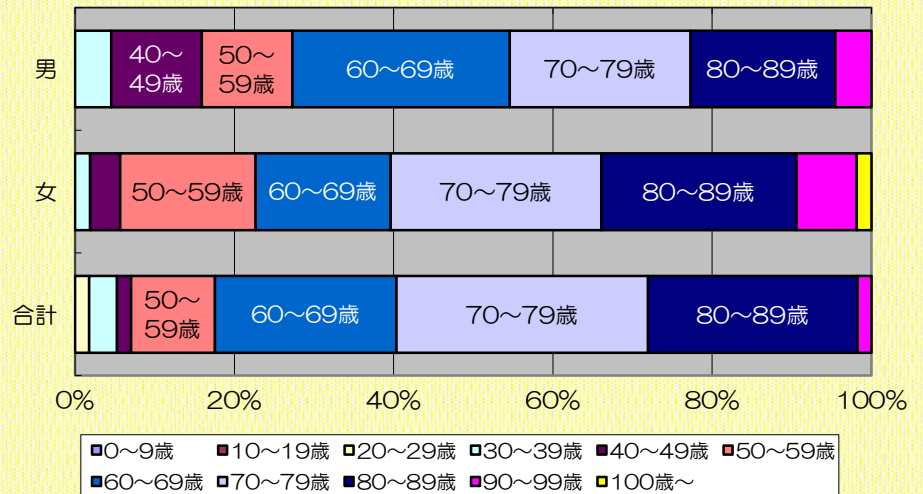
その他（対症療法等の加療、経過観察等）の割合は12%となっています。

3. 大腸

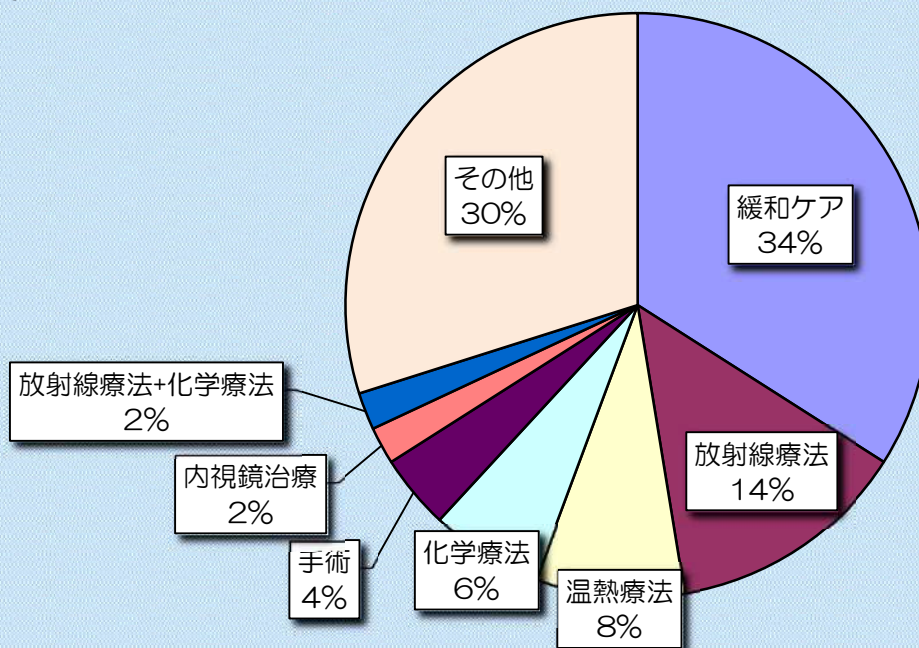
男女の割合



性別年齢階層別の割合



治療内容



○大腸がんの登録件数は97件です。

○大腸がんの男女比率は、男性が45%、女性が55%となっています。

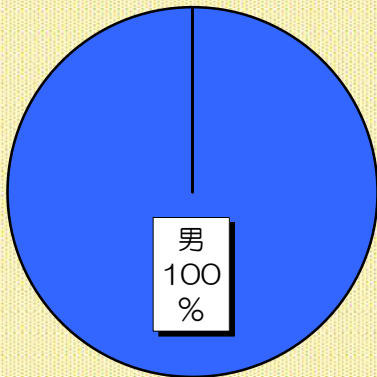
○年齢階層は、全体的に60~69歳、70~79歳、80~89歳の割合が高くなっています。

○治療の内訳は、緩和ケア、放射線療法、温熱療法、化学療法の順で割合を占めています。

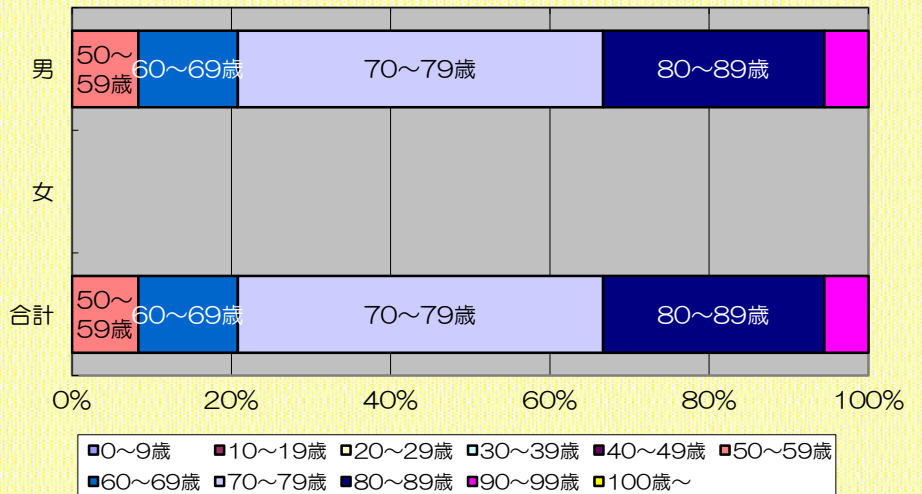
その他（対症療法等の加療、経過観察等）の割合は30%と高くなっています。

4. 前立腺

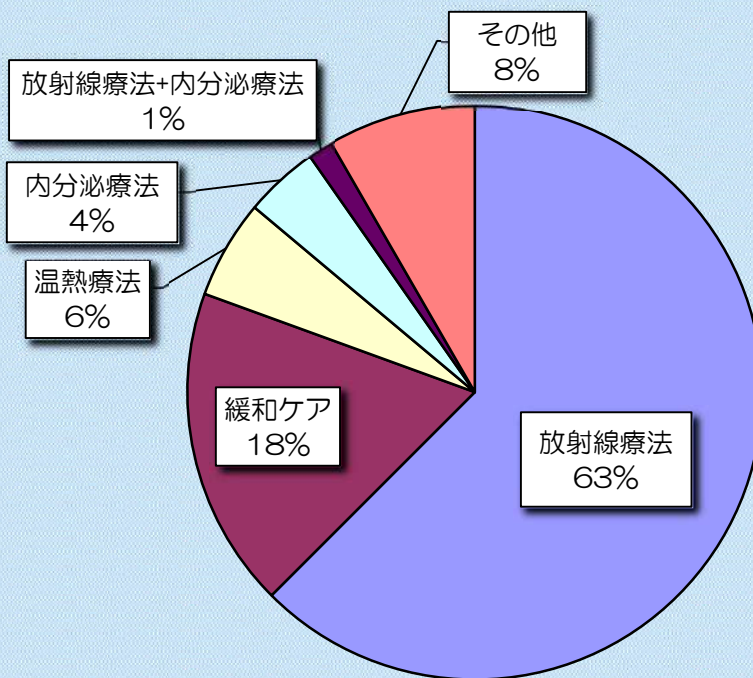
男女の割合



性別年齢階層別の割合



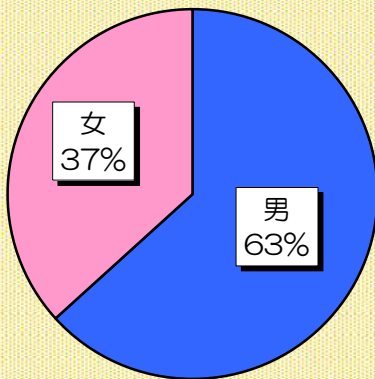
治療内容



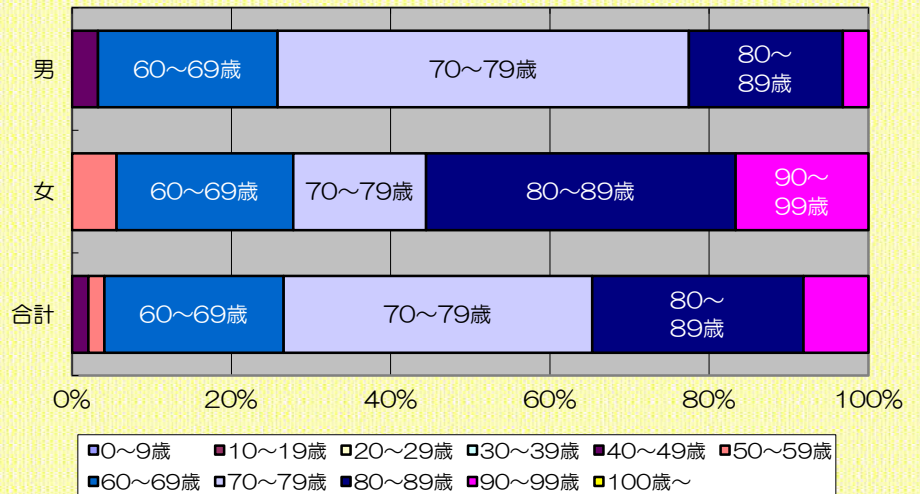
- 前立腺がんの登録件数は72件です。
- 前立腺がんは男性の疾患です。
- 年齢階層は、70~79歳、80~89歳の割合が高くなっています。
- 治療の内訳は、放射線療法の割合が63%と最も高くなっています。
- その他（対症療法等の加療、経過観察等）の割合は8%です。

5. 胃

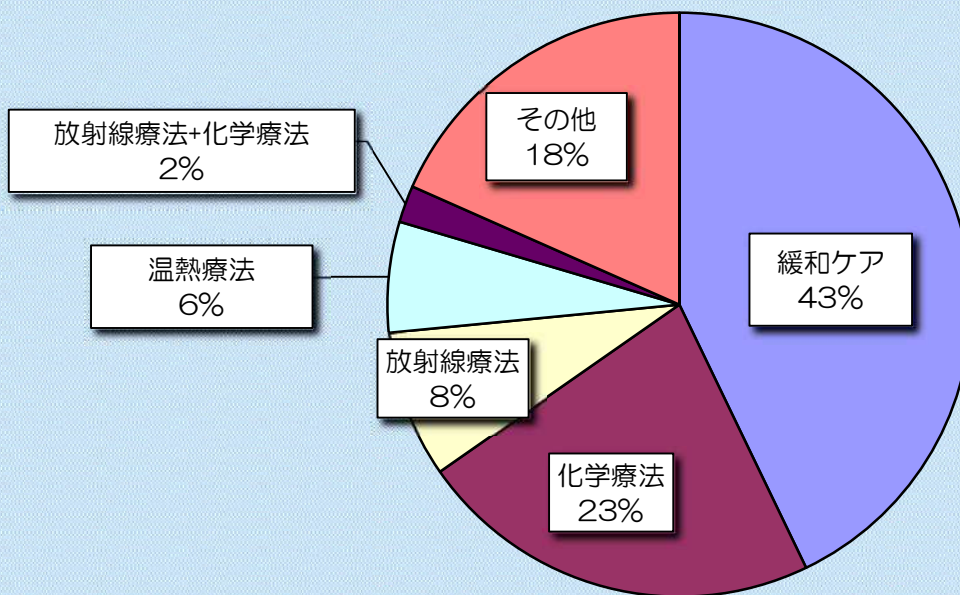
男女の割合



性別年齢階層別の割合



治療内容



○胃がんの登録件数は49件です。

○胃がんの男女の割合は、男性が63%、女性が37%となっています。

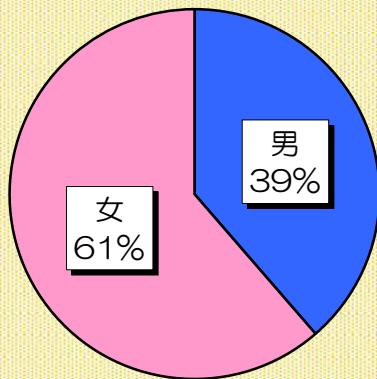
○年齢階層は、男性は70~79歳の割合が高く、女性は80~89歳の割合が高くなっています。

○治療の内訳は、緩和ケアの割合が43%と最も高く、次いで化学療法、放射線療法の順となっています。

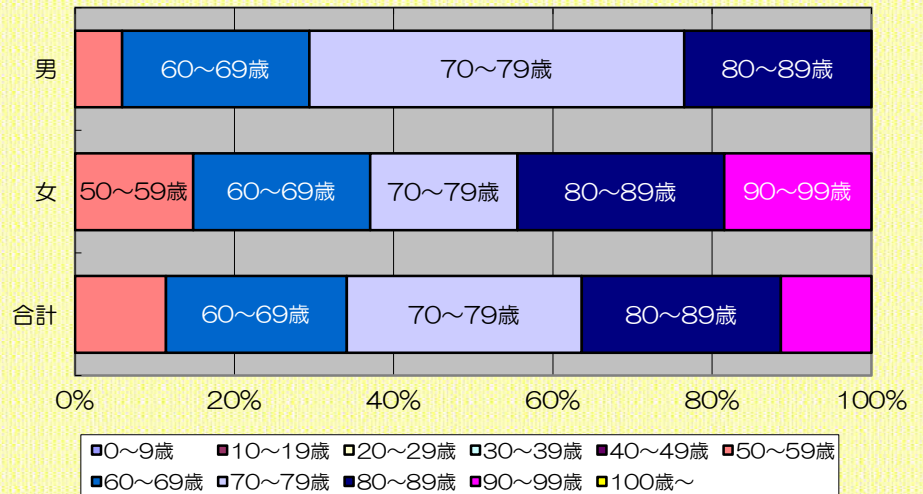
その他（対症療法等の加療、経過観察等）の割合は18%となっています。

6. 膵臓

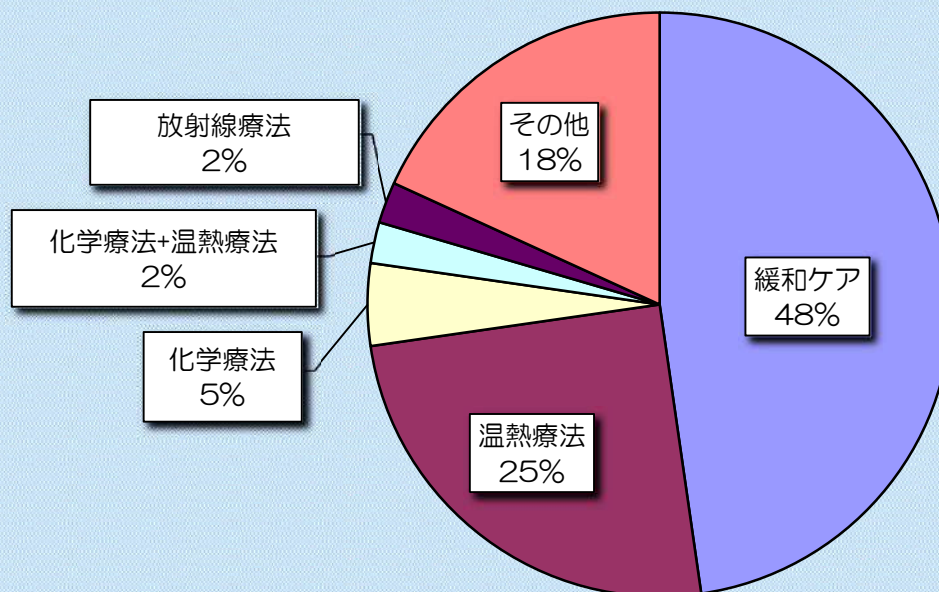
男女の割合



性別年齢階層別の割合



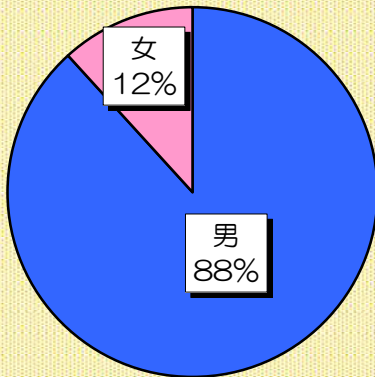
治療内容



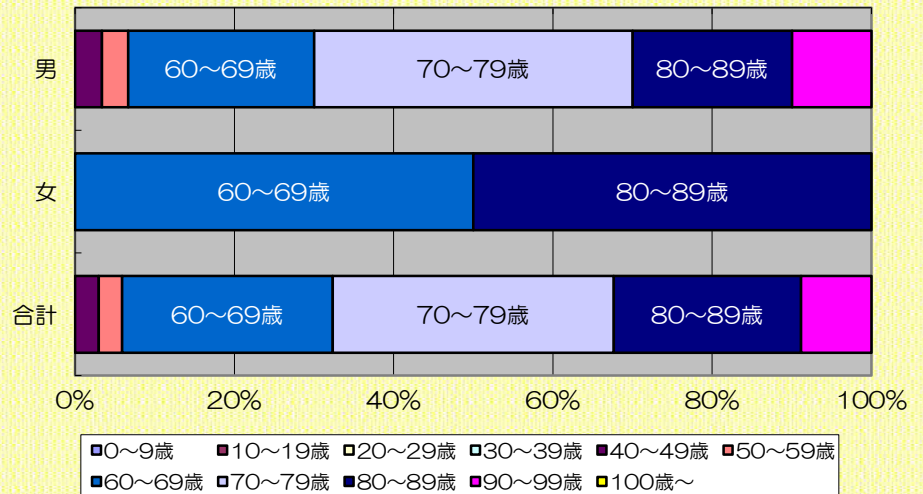
- 膵臓がんの登録件数は44件です。
- 膵臓がんの男女の割合は、男性が39%、女性が61%となっています。
- 年齢階層は、70～79歳の割合が最も高くなっています。
- 治療の内訳は、緩和ケアの割合が48%と最も高くなっています。
- その他（対症療法等の加療、経過観察等）の割合は18%となっています。

7. 食道

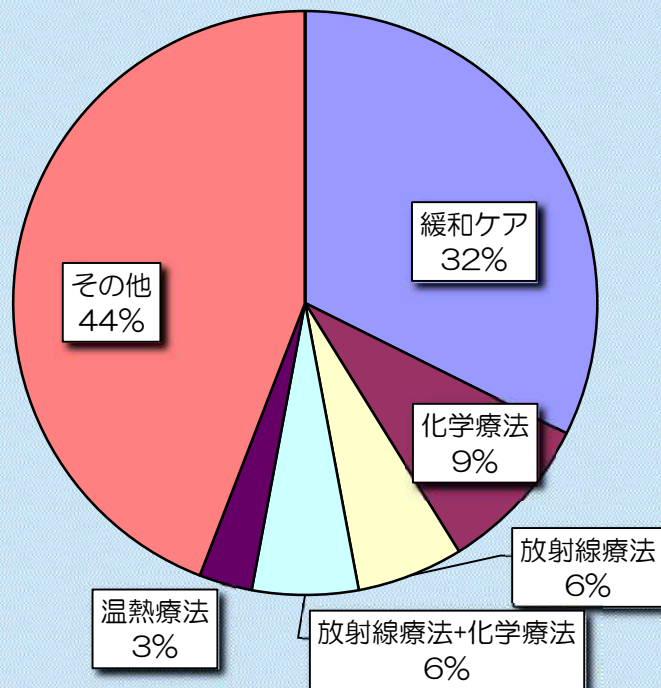
男女の割合



性別年齢階層別の割合



治療内容



○食道がんの登録件数は34件です。

○食道がんの男女比率は、男性が88%と高い割合を占めています。

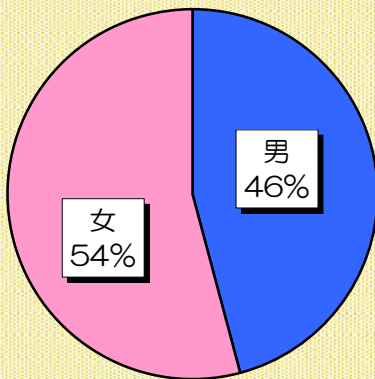
○年齢階層は、男性は70~79歳の割合が高くなっています。

○治療の内訳は、緩和ケア、化学療法、放射線療法、放射線療法+化学療法、温熱療法の順で割合を占めています。

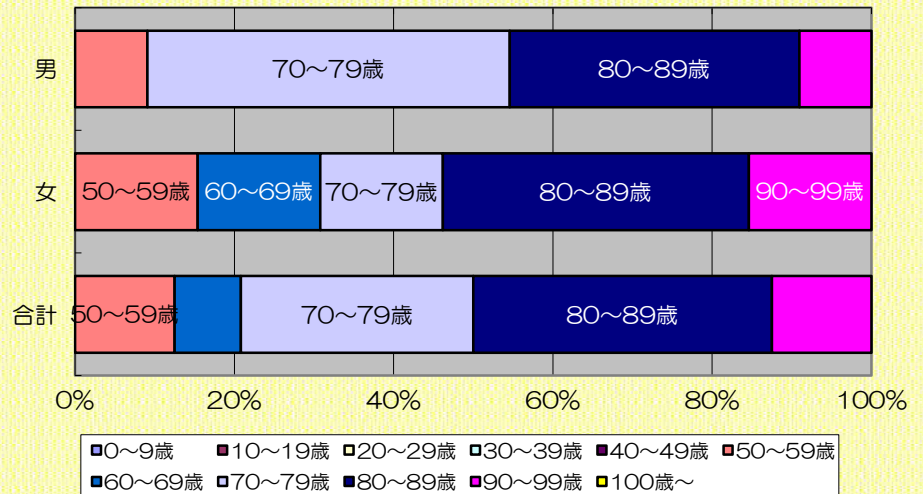
その他（対症療法等の加療、経過観察等）が44%と高くなっています。

8. 悪性リンパ腫

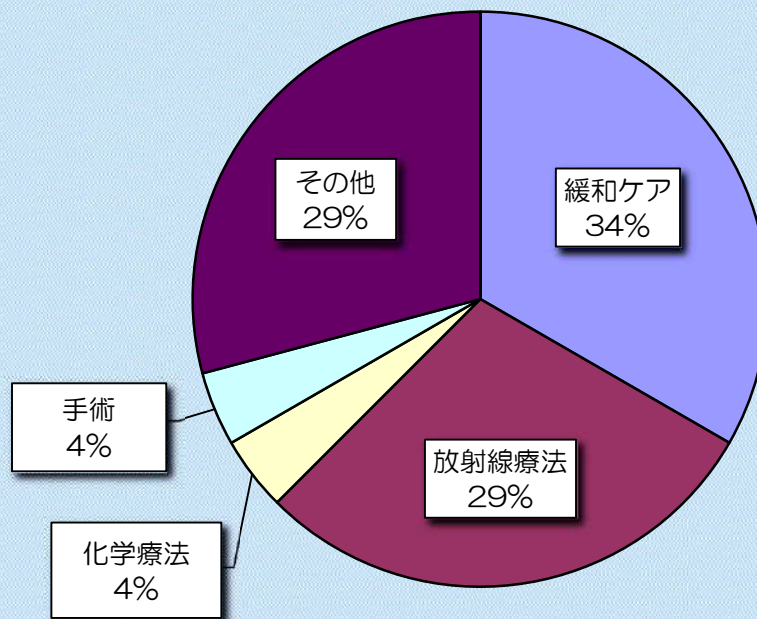
男女の割合



性別年齢階層別の割合



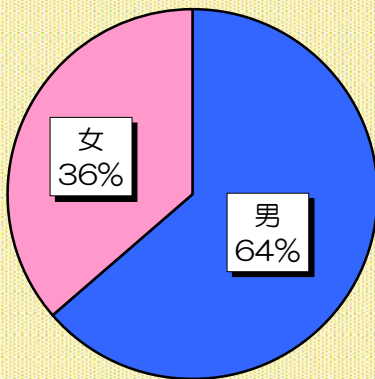
治療内容



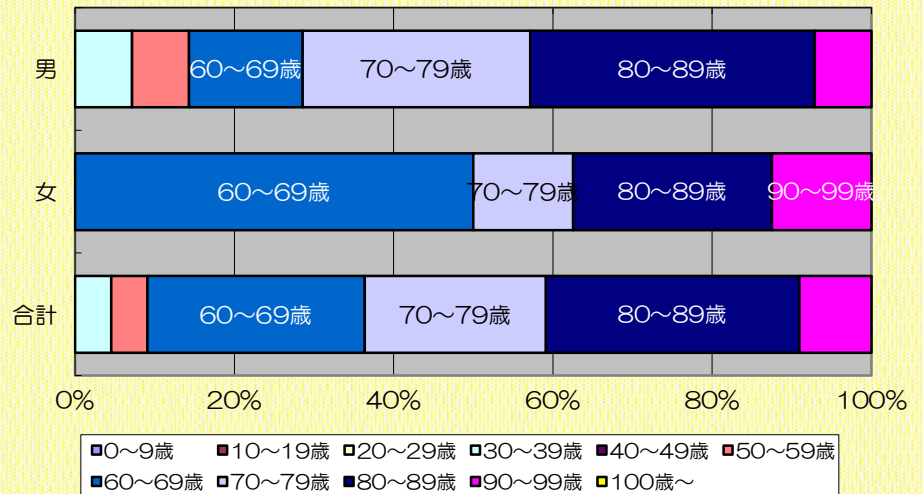
- 悪性リンパ腫の登録件数は24件です。
- 悪性リンパ腫の男女比率は、男性が46%、女性が54%となっています。
- 年齢階層は、70~89歳、80~89歳の割合が高くなっています。
- 治療内容は、緩和ケアが34%で最も割合が高く、次いで放射線療法、化学療法、手術の順で割合を占めています。
- その他（対症療法等の加療、経過観察等）の割合は29%となっています。

9. 肝臓

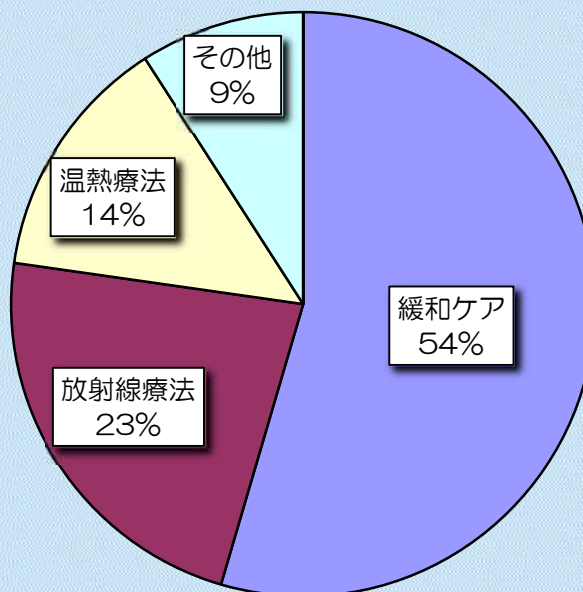
男女の割合



性別年齢階層別の割合



治療内容



○肝臓がんの登録件数は22件です。

○肝臓がんの男女比率は、男性が64%、女性が36%となっています。

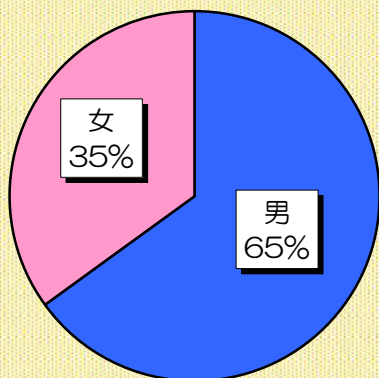
○年齢階層は、80~89歳、60~69歳、70~79歳の順で多くなっています。

○治療の内訳は、緩和ケアが54%で最も割合が高く、次いで放射線療法、温熱療法の順で割合が高くなっています。

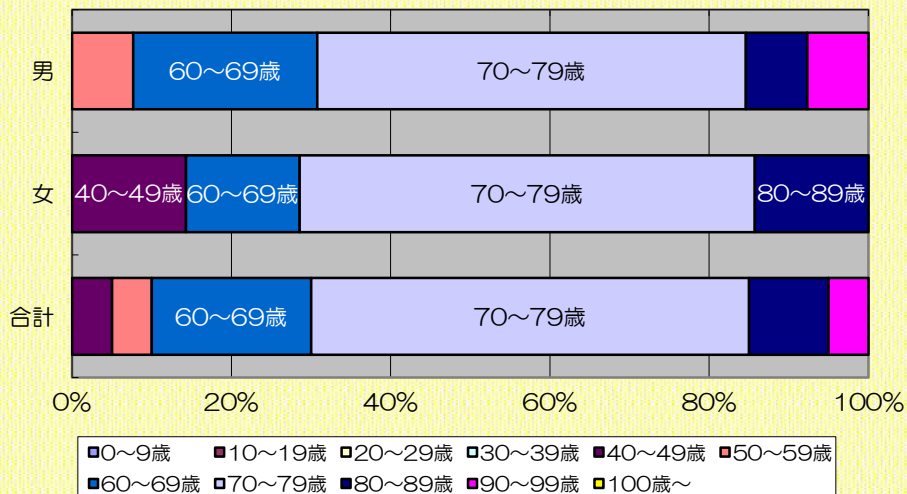
その他（対症療法等の加療、経過観察等）の割合は9%となっています。

10. 脳・中枢神経系

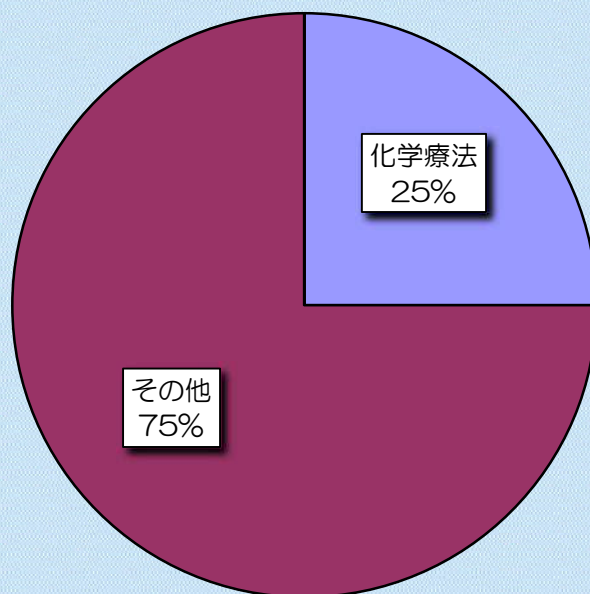
男女の割合



性別年齢階層別の割合



治療内容



○脳・中枢神経系のがんの登録件数は20件です。

○脳・中枢神経系のがんの男女比率は男性が65%で、女性が35%でした。

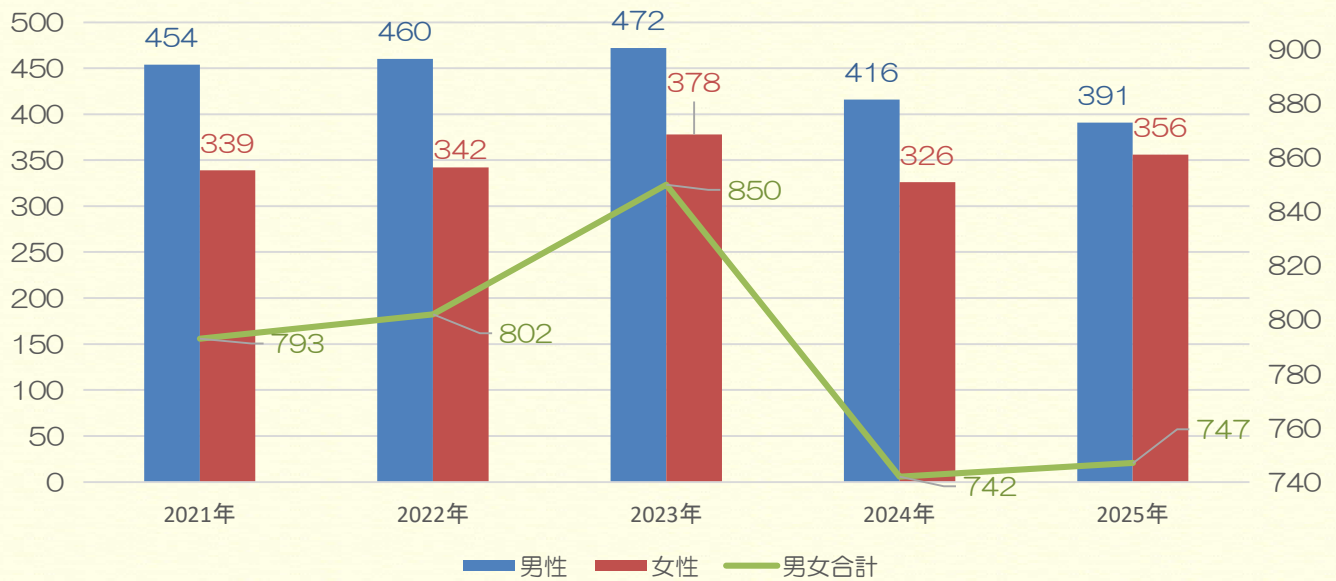
○年齢階層は、男性女性ともに、70~79歳の割合が高くなっています。

○治療内容では、化学療法が25%を占めています。

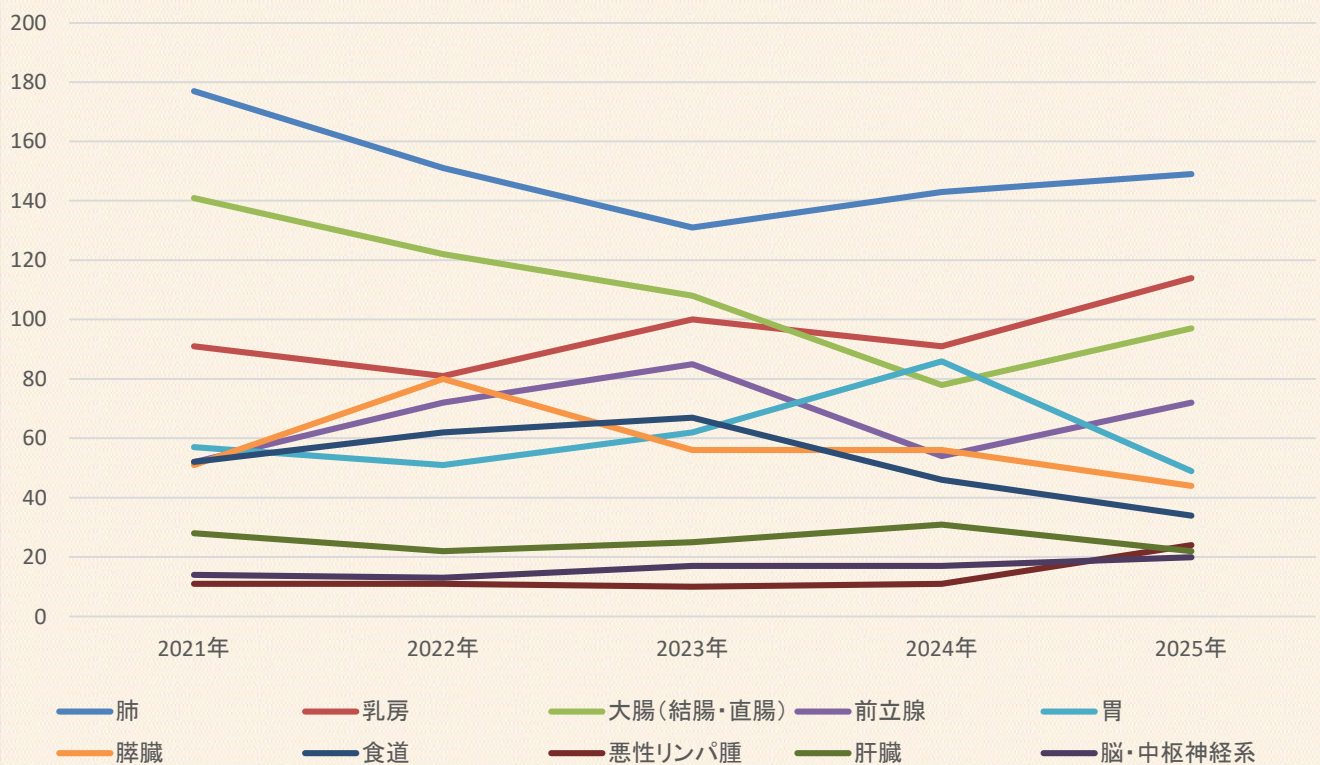
その他（対症療法等の加療、経過観察等）の割合は75%と高くなっています。

登録件数推移

院内がん登録件数推移



院内がん登録上位10部位登録件数推移



○部位別の推移では、乳房および悪性リンパ腫が増加傾向、
脾臓および食道は減少傾向となっています。